

【その他】

日本企業が持つ汚泥等堆肥化技術のアピール(ブラジル)

在クリチバ総領事館

開催日: 令和6年6月～11月
場 所: パラナ州上下水道公社(Sanepar)
主催(共催): Sanepar、共和化工(株)

【概要】

- パラナ州を中心に、下水汚泥等の堆肥化技術を活用した有機肥料の生産事業等への参画を検討する共和化工は、本年6～9月、Saneparの協力のもとクリチバ市内で堆肥化実証実験を実施(写真・上)。
- 同実証実験をもとに、共和化工とSanepar間の協力をさらに進めていくため、2024年6月21日、共和化工及び在クリチバ総領事館はウィルソン・リプスキSanepar総裁と面会し、日本企業が持つ堆肥化技術がパラナ州の農業の持続可能な発展等につながる点について説明を行った(写真・中央)。
- 同実証実験が成功裏に終了したこともあり、11月18日、共和化工とSanepar間において、ビジネス化を含む今後の更なる協力に関する覚書への署名が行われた。
- 署名は、共和化工本社は小西取締役副社長が、Saneparはリプスキ総裁が行い、調印式にはピアナ・パラナ州副知事、三井総領事も出席した(写真・下)。

